

令和元年度第3回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和元年12月26日（木）14時00分～16時05分

場 所：香美町村岡地域局 3階 301会議室

出席者：委員11名（4名欠席） 事務局5名

《次第》

開会

あいさつ

議題

- (1) 教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保について
- (2) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保について
- (3) 村岡幼稚園の預かり保育について
- (4) 第2期計画の素案について

その他

閉会

《資料》

資料26・・・・教育・保育の体制

資料27・・・・町内就学前施設入所児童数

資料28・・・・教育・保育提供体制について

資料29・・・・第2期香美町子ども・子育て支援事業計画（素案）

《議題》

(1) 教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保について（事務局による説明）

■委員意見

- ・教育・保育の提供体制は、子どものことを第一に考えて決めるべきである。建物や幼稚園教諭のことは関係ないことであり、このままでは少子高齢化が加速する。
- ・社会は大きく変化し、働き方も多様化しているので、保護者の意見を尊重して決めるべきである。中学校の統合問題が新聞に掲載されていたが、これも保護者からの意見によるものである。
- ・民間には公立と違い経営の問題がある。子どもの人数と比較して、香美町にこれだけの施設が本当に必要なのかどうか疑問である。
- ・第1期計画で、「認定こども園化」を進めるとあったが、現状は困難な状況となっている。町としての方向性を示されないと議論ができない。
- ・このままでは、第2期計画期間中も議論が進まない状況が続くことが懸念される。
- ・計画書には、「保護者の意見を重要視して進める」旨の内容を記載すべきである。

□事務局

- ・国、県は認定こども園化を推進しているが、教育委員会は小学校を含め7年間を通じた教育を従来から推進してきた。文部科学省も幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図ることを推進しており、ねじれがあることの整理が必要である。香住第二中学校の統合問題が現在でしており、小学校の統合の話ができれば、幼稚園もということが予測されるが、その時はいよいよ認定こども園化の議論になっていくと考える。そのための準備としての議論を、令和2年度からと考えている。民間の経営の論理も分かるが、公立としての住民サービスの部分も重要であるので、民間だろうが公立だろうが、子どもたちが香美町で育ったことを誇りに思えるような提供体制を考える必要があり、その提供のあり方が、認定こども園が良いということならば、そこに向かって共に頑張っていくことが必要である。町としては、認定こども園化をしないという考えではない。
- ・保護者の意見を聞きながら議論を進めていくことを計画書に記載する。

(2) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保について（事務局による説明）

■委員意見

- ・特になし

(3) 村岡幼稚園の預かり保育について（事務局による説明）

■委員意見

- ・村岡幼稚園の預かり保育を廃止することの決定が遅いように思う。

□事務局

- ・小学生の利用の動向によることも事情としてあったが、今後は気を付けたい。

(4) 第2期計画の素案について（事務局による説明）

■委員意見

- ・特になし